

「医療と経済」大阪大学の寄付講座のディスカッション

「医療と経済」大阪大学の寄付講座のディスカッション。民間病院、公立病院の経営改革の教科書をつくる。

「民間病院は持ち株制度があるが、非営利が原則で配当も禁止だが、持分に相続税、贈与税がしっかりかかる。国は持分無しへ誘導しているが、資金がかかる。また、消費税が仕入れにかかるが、患者に転化できない。病院が直接金融できるように診療報酬の債権化、土地リースのファイナンスを検討。また、介護の報酬削減と待遇改善の両立は、4月末に大問題が起こる。」

「公立病院は予算、人事権のない院長－単なる管理者。事務方もプロパーがいない。経営責任がない組織構造に問題」

「大阪の主要病院の患者に共通カードを持ってもらいビッグデータを活用。検査や投薬の重複を避けるだけでも大幅な医療費の抑制が可能」

錦秀会 藪本理事長、成人病センター 佐古院長、府立病院機構 遠山先生の鋭い問題提起。



公開研究会「医療と経済」のご案内

のご案内は大阪大学大学院医学系研究科医療経済・経営学寄附講座の要請を受けて生産技術振興協会がご案内を差し上げます。

趣旨

学大学院医学系研究科医療経済・経営学寄附講座では、このたび、書籍「医療と経済」を出版する運びとなつた。この出版にあたって、「医療と経済」公開研究会を実施し、参加者のコメントを頂き書籍づくりの参考にさせていただきます。これにより、それらのコメントを参考にして、執筆陣の最終稿に生かして出来る限り質の高い書籍とさせていただきます。参加者の皆様の白熱した討議を期待しております。貴方様のご参加を心からお待ちしております。

記

2015年4月11日(土) 13:00~17:30
2015年4月12日(日) 10:00~17:30 の二日間
1日でも可。関心のあるセッションのみでも可)
懇親会 有料(当日徴集) 100名で締切。
中之島センター703
4-3-53

